



かのう いぶき  
狩野 息吹さん  
(祖母井)

### 芳賀町の「つながる」未来

元号が「令和」と改まりその年に、私は成人を迎えました。私たちの暮らし方や働き方、社会の在り方そのものを大きく変える時が来ています。

私は家から眺める公園の大きな樹や一面の田園風景、夜空には沢山の星が輝く、そんな自然豊かでのどかな芳賀町が大好きです。

ただ高校進学後、宇都宮市内への通学・部活動など親の車を頼らざるをえず、親も仕事をしながらの送迎は大変だった事と思います。

現在は町を出て東京の大学に通っていますが、都心の交通網、アクセスの良さはすばらしく、電車に乗れば速く簡単に目的地まで移動ができてしまいます。

私はずっとLRTの開通を待ち望んでいました。芳賀町はのどかなままであってほしい、けれども他の地域とつながる事で利便性を上げ、住む人の生活を豊かに変える必要があると思います。

大好きな芳賀町の「つながる」未来をととても楽しみにしています。



せきぐち たくみ  
関 拓実さん  
(芳志戸)

### 成人としての決意

東京オリンピックが開催される年、そして令和最初の成人式を迎えることができたのは、家族、地域の皆様、そして親身に正しい道へと導いてくださった恩師の方々の力があつたからです。この場をおかりして感謝を申し上げます。

さて、近年自然災害による被害が増えています。私も防災について、自分ができる事はないかと考え、町消防団への入団を決意しました。「自分たちの町は自分たちで守る」を胸に町民の生命、財産を守るため、最善の努力をしていきたいと思っています。皆様のご指導をいただけますようよろしくお願いします。

芳賀町は、今後LRTの導入、新産業団地の造成、住宅地の造成分譲等大きな事業が行われていきます。より住みやすく魅力的な町になる事を期待しています。



いとう みきと  
伊藤 海里さん  
(東水沼)

### 地域で生きる

中学校に入学する際に、仙台から引っ越してきて、芳賀町に住みもうすぐ9年になります。

芳賀町の良さ、強みは「地域のつながり」だと感じます。お互いが気に掛け合い、助け合い、共に生きています。祖母の家からは、近所の方たちの楽しそうな会話がいつも聞こえてきます。顔を合わせると「おはよう」「おかえり」と声を掛け合っています。そんな時に、共に生きているという安心感に包まれます。

しかし、私たち若者の地域とのつながりは、希薄になっていないでしょうか。

「地域共生」が現代社会のキーワードになっていますが、子どもから高齢者まで安心して暮らせ、一人一人の「居場所」がある地域を守っていく責任が私たちにはあります。積極的に地域に貢献していくことによって、更に魅力的な芳賀町になっていくことを願います。